



業況DIは、コスト増が足かせとなりほぼ横ばい。先行きは持ち直しの見込み

ポイント

▶7月の全産業合計の業況DIは、▲19.7と、前月から+0.6ポイントのほぼ横ばい。駆け込み需要の反動が一部に残るものの、公共工事や自動車関連の堅調な推移に加え、夏の賞与増を含む賃上げ効果などにより、受注・売上は、緩やかに持ち直しつつある。他方、コスト増加分の価格転嫁遅れによる収益圧迫や、人手不足に伴う生産・営業活動への影響が業況改善の足かせとなっている。中小企業における景気回復の実感は、業種や企業規模などにより、まだ模様が続いている

▶先行きについては、先行き見通しDIが▲16.1(今月比+3.6ポイント)と、改善を見込む。反動減の影響が和らぎつつある中、賃上げなどを背景とする個人消費の持ち直しや、製造業の本格的な生産回復などが期待され、夏から秋頃に持ち直すとの見方が広がっている。他方、コスト増加分の価格転嫁遅れや、人手不足に伴う影響が幅広い業種でみられるほか、実質所得の低下や足元の設備投資の鈍さなどから慎重な声が聞かれるなど、先行きの見通しに、ばらつきがみられる

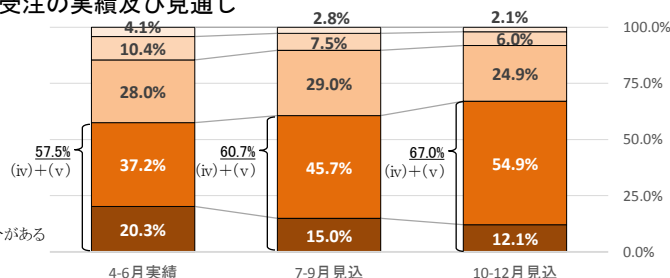
消費税率引き上げ後の売上・受注の実績及び見通し

▶前年同期と比較した売上・受注は、4～6月の実績で「ほぼ同水準」または「前年を上回る」企業(全産業)が57.5%((iv)+(v))。7～9月見込みは60.7%((iv)+(v))、10～12月は67.0%((iv)+(v))に達する

▶業種別では、4～6月の実績が「ほぼ同水準」または「前年を上回る」との回答が建設業の69.2%に対し、小売業では36.3%(小売業の7～9月見込みは44.5%、10～12月見込みは55.4%)

◆前年同期と比較した売上・受注の実績及び見通し

- (i)▲20%以上の落ち込み
- (ii)▲10%～▲20%未満の落ち込み
- (iii)▲10%未満の落ち込み
- (iv)ほぼ同水準
- (v)前年を上回る(増加)



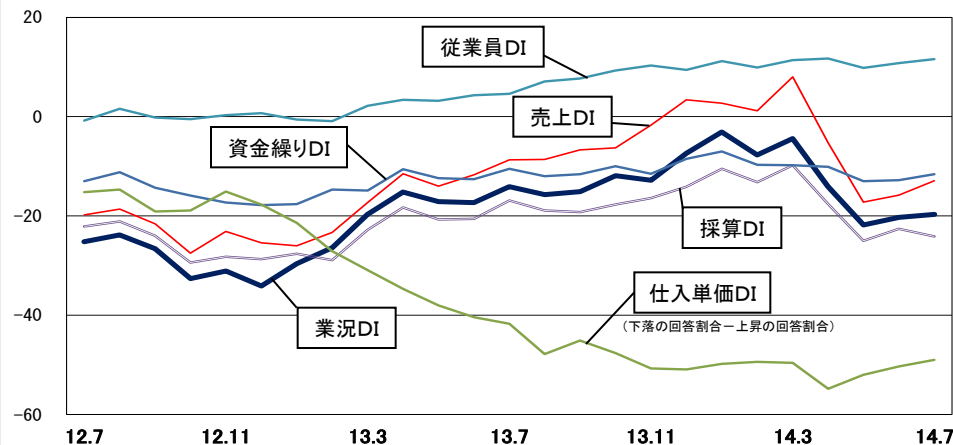
[中小企業の声]

▶4～5月の売上は前年比マイナスも、6～7月は前年並みまで回復(渋川 家具販売店)

▶売上・受注は増加しているが、電気やガス等の値上がりの影響が大きく、収益を圧迫(岡谷 金属熱処理・表面処理業)

▶足元の売上は前年比で減少。今後は徐々に回復し、秋頃に前年並みを見込む(掛川 茶仕上加工・卸売業)

LOBO全産業合計の各DIの推移(2012年7月以降)

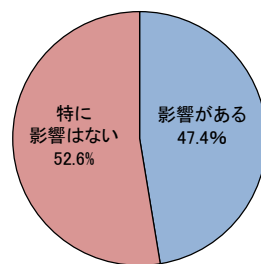


人手不足の影響

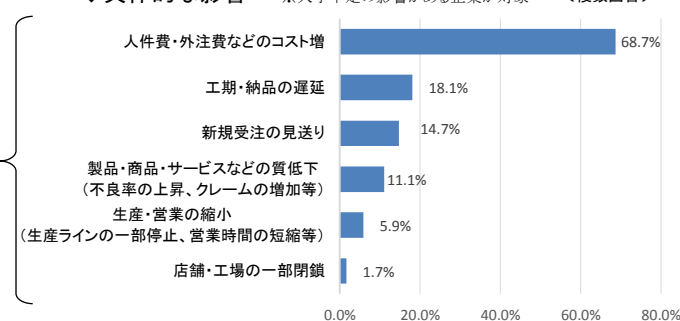
▶人手不足の影響がある企業(全産業)は47.4%に上る

▶具体的な影響は、「人件費・外注費などのコスト増」が68.7%と最も高く、「工期・納品の遅延」(18.1%)や「新規受注の見送り」(14.7%)が続く

◆人手不足の影響



◆具体的な影響



[中小企業の声]

▶人手不足ではあるが、先行きが不透明であり増員は難しい(札幌 ボイラー等機械販売)

▶正社員の募集に対して応募がなく、賃金引き上げや待遇改善をしても採用が困難な状況(信州中野 住宅等建設業)

▶人手不足だが、納期の調整や外注の活用により受注を維持(八王子 ソフトウェア開発業)

▶従業員が確保できず定休日を増やして対応しており、売上が減少(鹿屋 飲食業)